５課「大変な１日」

＜行動目標＞
突然のハプニングにあったとき、簡単なことなら事情を説明して、対処することができる。

＜２つのスモールトピック＞
ＳＴ１「困ったな……」
困った状況を説明したり、なくしたものの特徴やなくしたときの状況について説明したりすることができる。
ＳＴ２「駅で」
駅や道で困ったとき、簡単に事情を説明して、頼んだり謝ったりすることができる。

話してみよう

『できる日本語初中級』の５課のテーマは「大変な１日」です。日々の生活の中で、何かハプニングが起こったとき、どう対処したらいいか、誰しも困った経験があるかもしれません。困ったとき、周りの人に事情を説明したり手伝いを求めたりして、ピンチを乗り越えてもらいたいと思います。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。初中級では 2 枚のイラストと 1 枚の写真になっています。どのイラスト、写真を使うかは学習者に合わせて選んでください。全部使う必要はありません。『できる日本語 初中級教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』の p.39 にそれぞれの写真やイラストを用いた場合の質問例があるので、参考にしてみてください。イラストを見ながら、何をしているか、イラストと同じような経験があるかなどを聞いてみてください。イラストから過去の経験を思い出す学習者がいるかもしれません。イラストから、学習者の経験を引き出して、話を聞いてみてください。きっといろいろな話が出てくると思います。

【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマ

について、ある程度、学習者の興味が引き寄せられていたら、ＣＤを聞くときには、学習者は聞くことに集中できると思います。既習の学習項目や語彙が増えていることや効果音が使われていることから、どんな状況かがつかめると思います。聞いたあとで、CD の中で話している人がどこにいて、どんな状況かなどを教師やクラスメイトとやり取りをしてください。例えば、駅で大変なことがあった、電車にかばんを忘れた、駅員さんに言いに行って、どんなかばんかを説明している、最後にかばんがあったなど。やり取りを通して、聞いたことが共有できるといいと思います。

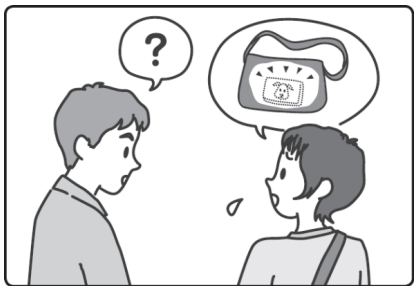
ＳＴ１　困ったな……

できること：困った状況を説明したり、なくしたものの特徴やなくしたときの状況について説明したりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：ダニエルさんとパクさんは一緒に出かけました。パクさんは駅でかばんを見たとき、財布がないことに気がつきました。

1



コマイラスト：パクさんの様子を見たダニエルさんが話しかけています。パクさんは困った表情でかばんの中に財布がないと答えています。

【チャレンジ！】では、状況イラストから入っていって、この会話がどのような状況で行われているのかを学習者と一緒にやり取りをしながら確認し、コマイラストに入っていきます。【チャレンジ！】では学習者が登場人物になりきって、これまでに習った学習項目や語彙を使いながら、こんなときどう言うかにチャレンジします。教師は学習者が発話しやすくするために、会話の流れや学習項目を意識しながら、イラストの吹き出しを指さしながら導いてください。

状況イラストでパクさんの様子に注目してください。それから、コマイラストを見ながら、ダニエルさんとパクさんの会話を再現します。かばんの中に財布がないのを見たパクさんがどんな気持ちかに注目してください。

学習項目　Ｖてしまいました（後悔）

言ってみよう　別冊1

練習１のキューは文字ですが、絵で示して練習する方法もあると思います。より状況がわかって理解しやすくなる学生もいるかもしれません。変換練習をするときに、新出語彙の確認とともに、「なくす」「忘れる」の意味の違い、またその意味の違いからくる「（場所）**で**（物）をなくす」「（場所）**に**（物）を忘れる」の助詞の違い、「～**を**なくす」「～**が**

なくなる」「～**を**落とす」「～**が**落ちる」の自他動詞、またその他の助詞などに注目してもらえるように問いかけながら、語彙の意味、表現の仕方を確認していきます。

練習 2 は、駅の窓口や交番などで駅員さんや警察官に助けを求めるために話しかけている場面です。ここの学習項目の「～てしまいました」と L4 の ST1 の 1 で学習した前置きの「～んですが」を合わせて「～てしまったんですが」の形で練習します。「～てしまったんですが…」と、言いさしになっています。

チャレンジ！

2

コマイラスト：パクさんの話を聞いたダニエルさんは、自分たちの行動を思い出し、パクさんに財布は喫茶店にあるかもしれないことを話します。パクさんはその喫茶店に戻り、店員さんに財布がないかどうかを尋ねます。しかし、財布はなかったので、二人は警察に行くことにします。

【チャレンジ！】のコマイラストは文型導入イラストではありません。流れを持ったイラストになっているので、授業ではぜひ全部のイラストの会話を【チャレンジ！】してもらってください。

学習項目　～かもしれません

言ってみよう　別冊2

キューが文字で示されています。キューの練習が終わったら、教師が状況をイラストで示したり口頭で言ったりする練習もできます。例えば、「朝、学校に行くとき、電車に乗っていますが、人身事故がありました」という状況を出して、そこで、学習者が「遅刻するかもしれません」「9 時に間に合わないかもしれません」など自由に答える練習ができると思います。

言ってみよう　本冊1 2

イラストを見ただけでは、何と言ったらいいか、すぐには思いつかなくて難しいと感じたり、いろいろな答えが出てきたりするものもあります。ペア練習の前に、クラス全体でどう言ったらいいか確認してからするといいと思います。教師は、事前に答え例を確認し、これまでに学習した語彙や表現で何と言ったらいいか準備しておいてください。何と言うかは、答え例と同じでなくても大丈夫です。ただイラストに出てくる語彙が新出語彙の場合があるので、その点は注意が必要です。ここでは「預かる」が新出語彙になっています。

このやり取りでは、困ったことが起きて慌てて声をあげている友達Ａさんに、Ｂさんが心配して「どうしたんですか」と声をかけます。Ａさんは今の困っている状況を説明します。Ａさんの状況を知ったＢさんは驚き、Ａさんは「どうしよう」と困っています。そんなＡさんにＢさんはアイデアを出しています。

授業では、例の会話を見ながら、学習者とやり取りをしていくといいと思います。例えば、

（例の「あっ」を読んで）
T：Ａさんの気持ちはどんな気持ちですか。
L：びっくりした気持ちです。
T：そうですね。
（「どうしたんですか」を読んで）
T：B さんの気持ちは？
L：Ａさんに問題があるかどうか、聞きたいです。
T：うんうん。この「どうしたんですか」「~んです」はどんなときに使いますか。
L：いつもと同じじゃないとき。
L：「どうしたんですか」に答えるとき、「~んです」を使って答えます。
T：そうですね。じゃ、次を読みましょう。（続きを読む…）
（「えっ？」を読んで）
T：ＢさんはＡさんの答えを聞いて、どう思いましたか。
L：びっくりー。
L：ちょっと信じられない。
T：そうですね。「えっ？」じゃ、次を読みます。「どうしよう」
全体：どうしよう。
T：この「どうしよう」はどういう意味ですか。
L：何をしますか、わかりません。
T：そうですね。例えば、家の鍵を忘れたとき…
L：どうしよう！
T：そうそう。そうですね。じゃ、最後、ＢさんはＡさんに何と言いましたか。

L：まだ喫茶店にあるかもしれません。
T：そうですね。
　ただ例を読むだけではなく、読みながら、そのときの話している人の気持ちに注目しながら会話の流れを確認していくといいです。

チャレンジ！

状況イラスト：ダニエルさんとパクさんは交番へ行きました。パクさんは交番で自分がなくした財布について説明をしています。

3-1

コマイラスト：パクさんは財布をなくしたことを言いに交番に行きました。警察官が財布をなくした場所について聞いていますが、パクさんは具体的にどこでなくしたかわからないようです。警察官に自分がどこへ行って何をしたかを話し、そのときは財布があったことを伝えています。

　コマイラストの１枚目を見て、「財布がないんです」という学習者もいるかもしれません。もちろんそれもいいのですが、「習ったことを使う」ということをぜひ促してください。

学習項目　Ｖた／Ｎのあとで、～

言ってみよう　別冊3

　イラストを見て自分で状況を考えて口頭練習できるように、練習 1 はイラストになっています。また、後件にさまざまな文が来られることを示すために練習 2 は文字でのキューになっています。練習のあとで、自分で文を作る練習をしてもいいと思います。「宿題をしたあとで」「食事のあとで」「アルバイトのあとで」何をしているのか、を自分のことで言う練習もできます。

言ってみよう　本冊3-1

　L5 の ST1 のできることは「困った状況を説明したり、なくしたものの特徴やなくしたときの状況について説明したりすることができる」です。なくした財布が見つからなく

て、交番へ行ったＡさんが警察官と話しています。Ａさんはどこでなくしたか質問されます。なくした場所がはっきりしないＡさんは何とか思い出そうとして、自分の行動を振り返っています。自分の行動を振り返る説明の中で学習項目の「～あとで、…」が使われています。自分の行動を振り返っている部分が例、①～④のイラストで示されています。

交番でどこでなくしたか聞かれたＡさんは、はっきりと覚えていなくて、「それが…」と言いよどんでいます。「それが」は新出語彙です。やり取りの流れから、パクさんがどういう意味で「それが」を発話しているか学習者に考えてみるよう促してください。

「それが」は、会話の中で、話の流れを示す大事なマークとして使える便利な言葉です。「それが」を聞いた相手は、自分が期待した答えとは違う返事が返ってくることが予想できます。学習者が会話の中で使えるように、このような言葉が押さえられるといいなと思っています。

チャレンジ！

3-2

コマイラスト：パクさんは警察官に財布がないことに気がついたときのことと、なくした財布について説明しています。

学習項目の「～あとで」は１枚目のイラストに入っています。3-1 でもやっているので、「～あとで」はスムーズに出てくると思います。ここでは、財布について説明することが大切になってきます。なくしたものを自分の元に取り戻すためには、そのものの特徴をしっかりと伝えられる必要があります。２枚目のイラストはとても大切なので、チャレンジの際には、１枚目に続けて２枚目も忘れずにしてください。

「気がつく」は新出語彙です。イラストを見て、「はっ！」と発見している様子がわかると思います。チャレンジの段階で、しっかりと「～に気がつく」と発話できる必要はありません。ＣＤを聞いたあとで、板書などで示して、日本語では「気がつく」と言うんだなと知ってもらってください。

学習項目　Ｖた／Ｎのあとで、～

言ってみよう

本冊3-2

ここでは、物をなくしたときのことと、なくした物の特徴を説明する会話を練習します。「気がつく」は「～「に」気がつく」のように助詞「に」を使うことに注意を促してください。なくした物の説明をする際、その物の特徴を説明する必要があります。物によって、どんな特徴を伝えたらいいか学習者にあげてもらいます。それから補足するものがあれば、追加するなどして、クラス全体で共有してください。以下の例は、その物の特徴を説明するのに必要だと思われる特徴です。ただし、学習者に合わせて、適宜調整をしてください。

かばん：かぱんのタイプ（リュックサック、ハンドバック、トートバックなど学生の持ち物に合わせて)、(必要なら）ブランド名、色、形、素材、模様、付属品（例えば、ポケットの有無)、中に入っているものなど

財布：形、色、素材、模様、(必要なら）ブランド、中に入っているものなど

携帯電話：機種、色、カバーの有無、カバーの柄など

特徴を説明するときに使う表現も確認します。「～が入っています」「～がついています」の「~ています」は初級の 15 課 ST3 で、「～が描いてあります」の「～てあります」は初中級 2 課の ST2 で提出されています。また警官の 3 番目のターンでは「いくらぐらい」に下線が引かれています。Ａのなくした物によって、質問が変わることを学習者が気付けるように促してください。

やってみよう

ST1 の「できること」は、「困った状況を説明したり、なくしたものの特徴やなくしたときの状況について説明したりすることができる」です。

CD を聞く前にそれぞれのイラスト（持ち物）の特徴的なことを一緒に確認するといいと思います（例えば、１の財布の中身、２のカメラはどんなケースか、３のかばんは柄やポケットの位置など)。聞いたあとで、なくしたものをどのような日本語で説明していたか、一緒に確認をしてください。また、店員や駅員が忘れ物以外に、どのような質問をしていたかも聞いてみましょう。(どこに座っていたか、どこ行きの電車だったかなど)

■　ロールプレイをします。まずはＡＢで話して、それから、二人で一緒に駅員のところへ行って話すというロールプレイです。

教科書のロールカードには、「財布」と書いてありますが、財布でなくて他のものでもいいです。また、実際の本人の持ち物で、説明の練習をしておくと万が一のときに役に立ちます。

ロールプレイを始める前に、何をなくした/忘れたか、それはどんなものか（特徴や中に入っているものなど）の説明を準備するといいです。必要な語彙や表現を確認しながら進

めてください。学習者から語彙や表現についての質問があったら、板書するなど全体に伝える形で答えると、その語彙や表現を他のクラスメイトも使うことができます。そのとき学習者が自分の持ち物を説明するために必要な語彙があればマイボキャブラリーとして覚えるいいチャンスです。
例えば、携帯電話の特徴の説明では、
「シルバーの iphone13 で、青いカバーがついています」とか「透明なケースがついています」とか「ピンクのケースで、右上にクマのイラストが描いてあります」とか「ひびがあります」などのように言うことができると思います。

こんなふうに

このようなシートを用意して、自分の持ち物を説明する練習をしました。

自分の持ち物を説明しましょう。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

こんなふうに

ロールカードの内容をもう少し詳しく書いたものを配布して、ロールプレイをしてみました。

A　あなたは電車に〇〇を忘れました。友達に話してください。それから、駅へ行って、駅員に説明してください。

何を話したらいい？

ヒント：忘れた物の色、形、大きさ
かばんや財布なら中に何があるか
乗っていた電車（何行きの電車か、どの辺の車両に乗ったか…）
見つかったらどうしたいか

B　あなたはＡさんの友達です。Ａさんが困っています。Ａさんの話を聞いてアドバイスしてください。

C　あなたは駅員です。Ａさんの話を聞いて質問してください。

何を聞いたらいい？

ヒント：忘れた物の色、形、大きさ
かばんや財布なら中に何があるか
乗っていた電車（何行きの電車か、どの辺の車両に乗ったか…）
見つかったらどうしたいか

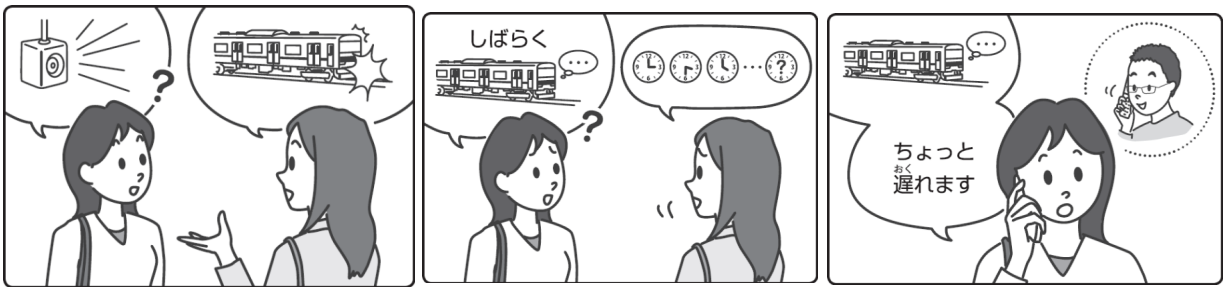
ＳＴ２　駅で

できること：駅や道で困ったとき、簡単に事情を説明して、頼んだり謝ったりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：
ワンさんは今日、ナタポンさんと一緒に出かける約束があるので、その待ち合わせへ行くところです。今、地下鉄のホームで電車を待っていますが、構内アナウンスが聞こえてきました。
ワンさんはそのアナウンスの内容がよく聞き取れなかったので、近くにいる人に質問をします。

1



コマイラスト：ワンさんは先ほど流れた構内アナウンスの内容がよく聞き取れなかったので、近くにいる女の人に質問をしています。近くにいた人は事故で電車が止まっていると教えてくれました。ワンさんは待ち合わせの時間に遅れそうなので、ナタポンさんに連絡をします。

ＣＤには駅の構内アナウンスの声も入っています。もちろん【チャレンジ！】では聞くだけで大丈夫なので、学習者にも聞くときには心配しないように言ってあげてください。聞き取れなかったワンさんの気持ちになって、そのとき、近くにいる人に何と聞くか、【チャレンジ！】で言ってもらいましょう。初中級２課 ST1 で「～てもらえませんか」が提出されています。店員とのやり取りで、サービスの受け手が店員に依頼をするという場面で使われていますが、ここでは相手にちょっと手間をかけると話し手が感じている状況なので、丁寧に「～ていただけませんか」が使われています。

コマイラストが 3 枚あります。待ち合わせをしているナタポンさんに連絡をするまでが１つの談話になっているので、ぜひ３枚の【チャレンジ！】をしてください。友達との約束に遅れてしまうと思い、知らない人にがんばって声をかけているワンさんの気持ちになっ

て、ぜひチャレンジをしてください。そうすると、ここのワンさんやナタポンさんの発話が考えやすくなると思います。

学習項目　Ｖていただけませんか

言ってみよう　別冊1

キューがイラストで示されています。【チャレンジ！】と同じように、教師がイラストの中でポイントになるところを示しながら、学習者は言いやすくなると思います。イラストでの練習が終わったら、教師が口頭で「日本人の日本語が速いですから、わからないとき」「道がよくわからないとき」などのようにキューを出して、どんな日本語で言ったらいいかという練習もできます。

「Ｖマス形＋方」は初級 7 課 ST2 で学習しました。初級 7 課のときは、「～への行き方」は提出されていません。「～への行き方」は初めて出てくるので、ここで注意するように促してください。

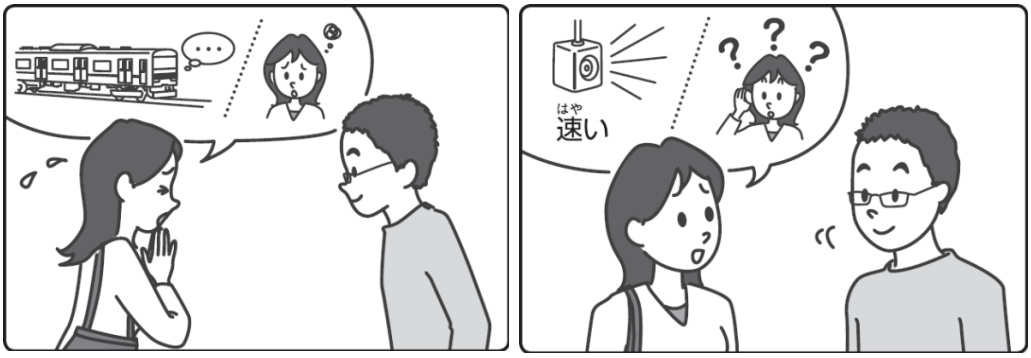
言ってみよう　本冊1

練習の際には、この駅の中にいる人物になりきって、練習をしましょう。
学習者に合わせて、4 ターン目の B の答えを自由に考えて話すように促すと、よりいきいきした会話になります。例えば、例）なら、
例）B：ええ、いいですよ。○○線に乗って、○○駅で○○線に乗り換えるといいですよ。
などということもできます。

チャレンジ！

状況イラスト：
電車が事故で止まっていたため、ワンさんは約束の時間より 1 時間遅く待ち合わせの駅に着きました。今、ナタポンさんに理由を説明しています。

2



コマイラスト：ワンさんはナタポンさんに約束の時間に遅れたことを謝っています。駅のアナウンスが速くてわからなかったことを話しています。

学習項目　～て、～（理由）

言ってみよう　別冊 2

練習１から４まであります。少し量が多いかもしれませんが、少しずつ練習していきましょう。理由の「～て、」は後件の制約があるので、注意が必要です。とはいえ、ルールは３つなので、整理しておけば難しくないです。後件に来られるものには、「話す人の気持ち」「できない/できなかったこと」「自分の希望じゃないこと」の３つだけが来ることができます。練習１は「話す人の気持ち」、練習２は「できない/できなかったこと」、練習３は「自分の希望じゃないこと」が後件に続く練習をそれぞれします。動詞のない形に接続する場合は、「～なくて」になることに注意を向けてください。練習４は前件が形容詞の練習です。後件の制約は、同じです。

前件を固定して、後件にどんな形容詞や動詞を使うか選ぶ練習や後件の文を作る練習などもできます。『わたしの文法ノート初中級』p.39-p.40 にも練習問題があります。

こんなふうに

自作プリントを作成して、練習をしてみました。

1

（動詞テ形）　て、
（動詞ナイ形-ない）なくて、　[話す人の気持ち]。

・電車が止まってしまって、困りました。
・遅れてすみません。

[気持ちのことば]　たとえば…

例１）道に迷いました。　→　迷って、大変でした。

例２）行き方がわかりませんでした　→　わからなくて、困りました。

① 電車が急に止まりました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、びっくりしました。

② すぐ財布が見つかりました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、よかったです。

③ 電車にかばんを忘れました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、困りました。

④ 鍵をなくしました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、困っています。

⑤ 長い時間立っていました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、疲れました。

⑥ 終点まで行ってしまいました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、困りました。

⑦ すぐ電車が動きました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、安心しました。

⑧ ずっとコンピュータで仕事をしました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、疲れました

⑨ 一緒に旅行に行けません　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

⑩ 長い時間座れませんでした　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

⑪ 店員の日本語がわかりませんでした　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

⑫ すぐ新しいアパートが見つかりました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

2

（動詞テ形）　て、
（動詞ナイ形-ない）なくて、　[できません／できませんでした]。

※できないこと，できなかったこと

・財布をなくして、何も買えませんでした。

① 道に迷いました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、学校の場所がわかりませんでした。

② 風邪をひきました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、テストが受けられませんでした。

③ 家の鍵がありません　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、中に入れません。

④ 携帯電話をなくしました　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿、友達に連絡できません。

⑤ 台風で電車が動きません　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、アルバイトに行けません。

⑥ 飛行機の時間に間に合いませんでした　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、乗れませんでした。

⑦ 宿題がたくさんあって、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

⑧ 携帯電話がなくて、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

3

（動詞テ形）　て、
（動詞ナイ形-ない）なくて、 } **［自分の意志じゃないこと］。**

・電車が止まって、1時間待ちました。　　※自分の希望じゃないこと
・道が混んでいて、遅れてしまいました。

① 寝坊しました　→＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

② 終電に乗れませんでした　→＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

③ 電車の中で寝てしまいました　→＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

④ 出口がわかりませんでした　→＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

⑤ 食べすぎました　→＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

⑥ スマホを忘れました　→＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

a．歩いて帰りました	b．おなかが痛くなりました	c．家に取りに戻りました
d．遅刻してしまいました	e．乗り過ごしました	f．たくさん歩きました

☆　イ形容詞，ナ形容詞もOK！

・アナウンスが速くて、聞き取れません。

① 漢字が難しいです　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、メールが読めません。

② 寒いです　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、風邪をひきました。

③ 地図が複雑です　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、わかりません。

④ 乗り換えが大変です　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、困りました。

⑤ 集合時間が早いです　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、大変です。

⑥ ルームメイトが帰ってくるのが遅いです　→ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、心配です。

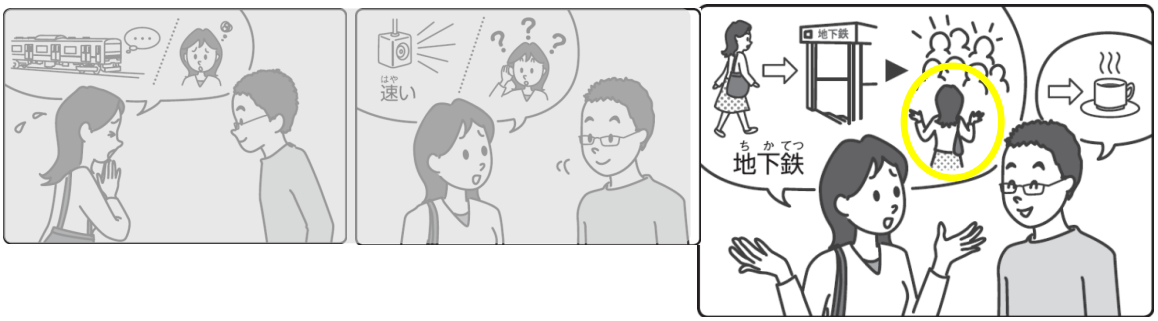
言ってみよう　本冊 2

6 ターンある会話になっています。会話が長くて大変と思ってしまう学習者もいるかもしれませんが、会話の流れがわかればその不安も少なくなります。

まず遅刻したＡさんが謝り、遅刻をした事情を説明しています。最後の B さんは、慌ててきた A さんを思いやる一言を言っています。キューはイラスト中の吹き出しで表されているので、何と言ったらいいか自由に考えてもらってください。ペアでの練習をする前に、教室で一緒にキューのイラストを見て、何と言ったらいいかを考えてもらうといいです。①の答え例では「道に迷って、1 時間くらい歩いたんです」となっていますが、イラストを見て「道がわからなくて、1 時間くらい歩いたんです」でも構いません。初中級になると語彙や表現が増えていろいろな言い方ができるようになるので、答え例は一つの例として紹介し、学習者から出てきたいろいろな表現が使えるようになるといいと思います。

チャレンジ！

3



コマイラスト：ワンさんはナタポンさんに地下鉄に乗り換えたときのことを話しています。ワンさんが地下鉄の駅に行ったとき、駅は人で混んでいました。ナタポンさんは大変だったワンさんを思いやって、喫茶店へ行くことを提案しています。

【チャレンジ！】3は、1、2の続きなっているので、【チャレンジ！】3をする際には、コマイラストの1から始めてください。学習者が会話を再現するとき、イラストの吹き出しの中のワンさんに注目するようにしてください。「ワンさんは地下鉄へ行きました。それから何がわかりましたか／何に気がつきましたか」などと聞きながら、ワンさんの気持ちに注目してもらってください。

学習項目　Ｖたら、～た（発見）

言ってみよう　別冊 3

キューを用いた練習が終わったら、教師が前件を言って、学習者が後件を考える練習もで

きます。

言ってみよう 本冊 3

練習が終わったら、教科書を見ないで、イラストだけで言う練習をしてみましょう。学習者に合わせて、Ａさんの話を聞いたあと、Ｂは何というかを考えてもいいと思います。

やってみよう

ST2 の「できること」は「駅や道で困ったとき、簡単に事情を説明して、頼んだり謝ったりすることができる」です。会話の流れ（何に困っている／いたか、何があったかなど）とそのとき使っている表現などを、聞いた後で一緒に確認してください。

■　ペアでイラストを見ながら、話します。

ペアで話すとき、イラストの人物になりきって話すようにしてください。①～④はそのとき何と言ったらいいか、その場でのやり取りを考えて、話します。例えば、①のような状況では、一人で「起きたら 2 時でした」とは言いませんね。このような場合、「あー、大変！」とか「どうしよう」と独り言のように言うことが多いと思います。

待ち合わせ場所に到着して、友達に会って遅れた理由を話すとき友達に会って遅れた理由を話すとき、約束の場所に来るまでに起きたことを相手にわかるように伝えます。その際、吹き出しの中のイラストの内容をその通りの順番で言うと、相手に伝えたいことが伝わりにくくなってしまいます。どんな順番でどう話したら謝りたい自分の気持ちがきちんと相手に伝わるかを考えてもらうといいと思います。

イラストの女の人は、相手に頭を下げて遅れたことをまず謝っています。「遅れてすみません。起きたら 2 時だったんです。本当にごめんなさい」などと言ってから、寝坊してしまったのには実は訳があって…のように、昨日のアルバイトのことを言うと、聞いている相手（待っていた人）は、話を聞きやすくなると思います。話を聞いている相手はあいづちやフィラーなどもいれるようにすると、自然な会話の流れになります。

CD-ROM 内の PDF データにここの会話例を載せてあります。そちらもぜひ参考になさってください。

こんなふうに

イラストの会話を発表してもらうとき、イラストを ppt に貼って、アフレコのようにしてもらいました。目覚まし時計や電車の効果音などを入れて、臨場感も出してみました。学習

者もその人の気持ちになって、台詞を上手に言っているのが印象的でした。

できる！

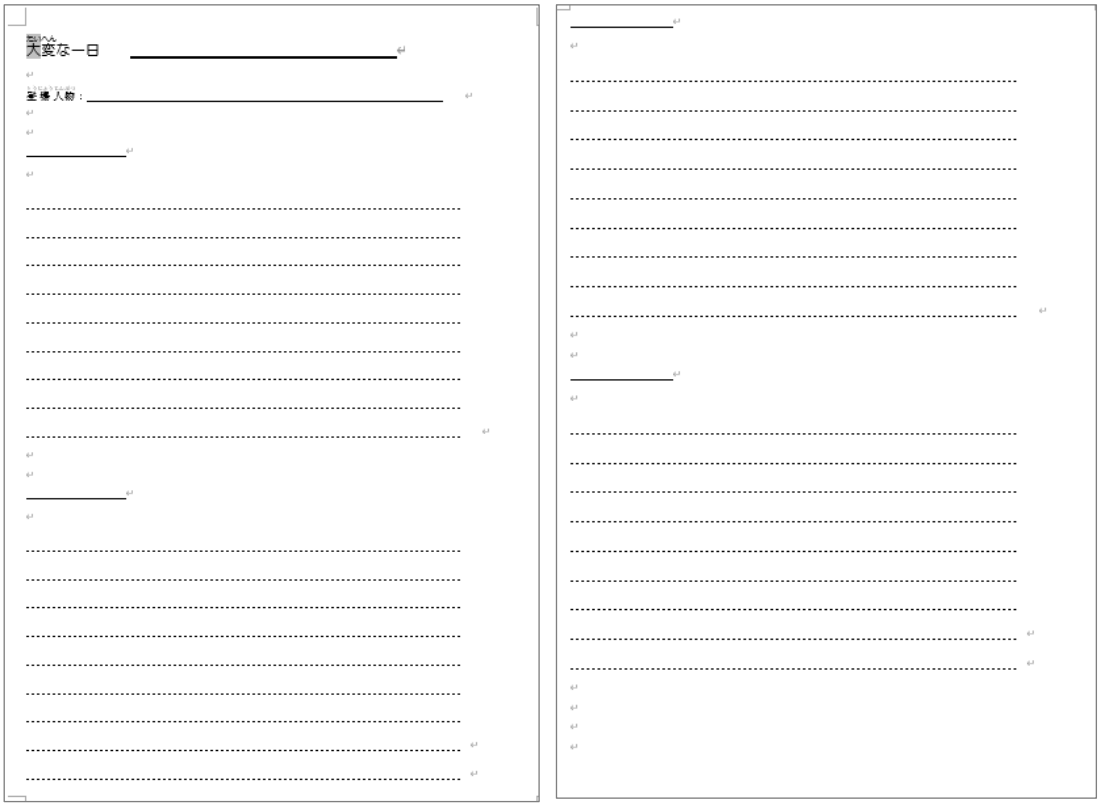
この課の行動目標は、「突然のハプニングにあったとき、簡単なことなら事情を説明して、対処することができる」です。日本での生活の中で、学習者にはさまざまなハプニングがあると思います。どんなふうに対処したか、それぞれの経験談を共有できるといいと思います。そのとき対処できなかったとしても、その経験を共有することで、他の人から新たなアドバイスがもらえる機会になるといいと思います。以下、【できる！】の実践例をご紹介します。

【できる！】実践例

・「困った一日」「大変な一日」「私の失敗」の自分の経験を元に、グループでシナリオ作成して、発表する。
・【話読聞書】を先にして、グループ内発表をする。グループ内の誰かのエピソードの中から１つ（興味深いもの、ユニークなもの、他者が登場するもの＝「私の失敗」は必ずしも他者が出てくると限らないので）を選んで、シナリオを作成し寸劇をする。
・状況イラストを利用して、「大変な一日」のシナリオ作成をする。
・来日前/後のハプニングをグループで話して共有する。その後、グループでエピソードを一つ選んでシナリオを作って寸劇をする。
・自分たちの失敗談を発表する。

こんなふうに

シナリオ作りをする際に、このようなシートを用意して、書いてもらいました。どんなタイトルにするか、登場人物も書いてもらうようにしました。


大変な一日 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
登場人物：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

話読聞書

テーマは「私の失敗」です。「失敗」ということばにこだわらず、こんなことがあって、大変だったという経験を共有できたらと思います。教室で話すときには、自分の経験を思い出す時間があったほうがいいです。例えば、教科書の例を一緒に見ながら、「これと同じようなことがあったか」とか、教師自身の経験を紹介するのもいいと思います。その際には、学習者から質問がしやすいように、やりとりをしながらエピソードを紹介してみてください。そうしているうちに、学習者も「あ、私もこんなことがあった！」と思い出してくると思います。ここで話したエピソードが【できる！】の「大変な一日」のシナリオに活かせます。

１つのクラスを複数の教師で担当している場合、学習者から出てきた話題を教師観で共有しておくことはとても大切です。【話してみよう】、各 ST で学習者からどんな話がでてきたのか、学習者間でどんなやり取りがあったのか、といった情報を同じクラスを担当している教師が知っておくと、【できる！】や【話読聞書】で生かすことができます！